

展 開 例 (15)

- 1 小項目 現代の文化
- 2 指導目標 現代の文化の特質や動向，問題点について認識を深めさせ，現代の文化と自己との
かかわり方やこれからの文化の発展の方向について，自らの課題として考えさせる。
- 3 指導計画 (1) 現代文化の姿と特質…………… 3時間
(2) 現代文化の反省と課題…………… 2時間(本時は1時間目)
- 4 本時の学習指導案

題 材	現代文化のひずみと調和		
ねらい	文化の継承と豊かな人間性の重要性を理解させる。		
過程	指 導 内 容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
展 開	1 現代文化のひずみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代文化のひずみについて発問し，確かめる。 	
	2 伝統文化の破壊と保存	<ul style="list-style-type: none"> ○ 破壊や衰微の要因を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・有形文化 都市化・工業化→開発・造成 ・無形文化 量産化→後継者不足，共同体の崩壊 ○ 保存のための努力について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護法 文化庁 ・指定 補修 復原 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 破壊については，明治初年以來たびたびくり返されていることに気付かせる。 ○ 破壊や保存の著名な事例を引用するのも効果的である。 ○ 歴史的にはフェノロッサやブルーノ・タウトなどの業績も参考にしたい。
	3 人間疎外と人間性の回復	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機械化や合理化による人間疎外の状況について話し合う。 ○ 人間疎外の克服について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・祭りの復権→フェスティバル(資料①) ・歩行者天国 ・歩行者優先 ・職場集団→いろいろのサークル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代の支配的な潮流である機能的合理化の進展が，人間どうしの信頼関係を弱め，人間的感性の自由な発現をさまたげていることに注意させる。
終 末	4 本時のまとめと次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保存や回復の重要性とその努力の必要性についてまとめる。 ○ 次時の予告(世界文化への寄与)を聞く。 	